

福島第一原子力発電所 C東タンクエリア海側 角型ノッチタンク仮堰からの水漏れについて

< 参考資料 >
平成26年4月18日
東京電力株式会社

17時30分更新

- 4月18日午前1時50分頃、タンクエリアパトロールにおいて、C東タンクエリア海側(東側)に設置されている角型ノッチタンクの仮堰(角材にて形成)より水が漏れいしていることを当社社員が発見。
- 漏えいは止まっていた状態であり、角型ノッチタンク内に水が無いことを確認している。
- 角型ノッチタンクは空であり、仮堰内に残っている水の分析結果から、雨水と判断。
- 漏えい範囲は約1m×約7mおよび約1m×約2mであり、それぞれ深さは確認できず湿っている程度。
- 周囲に側溝が無いことから、海への流出はないものと考えている。
- 仮堰内の水について、回収済み。

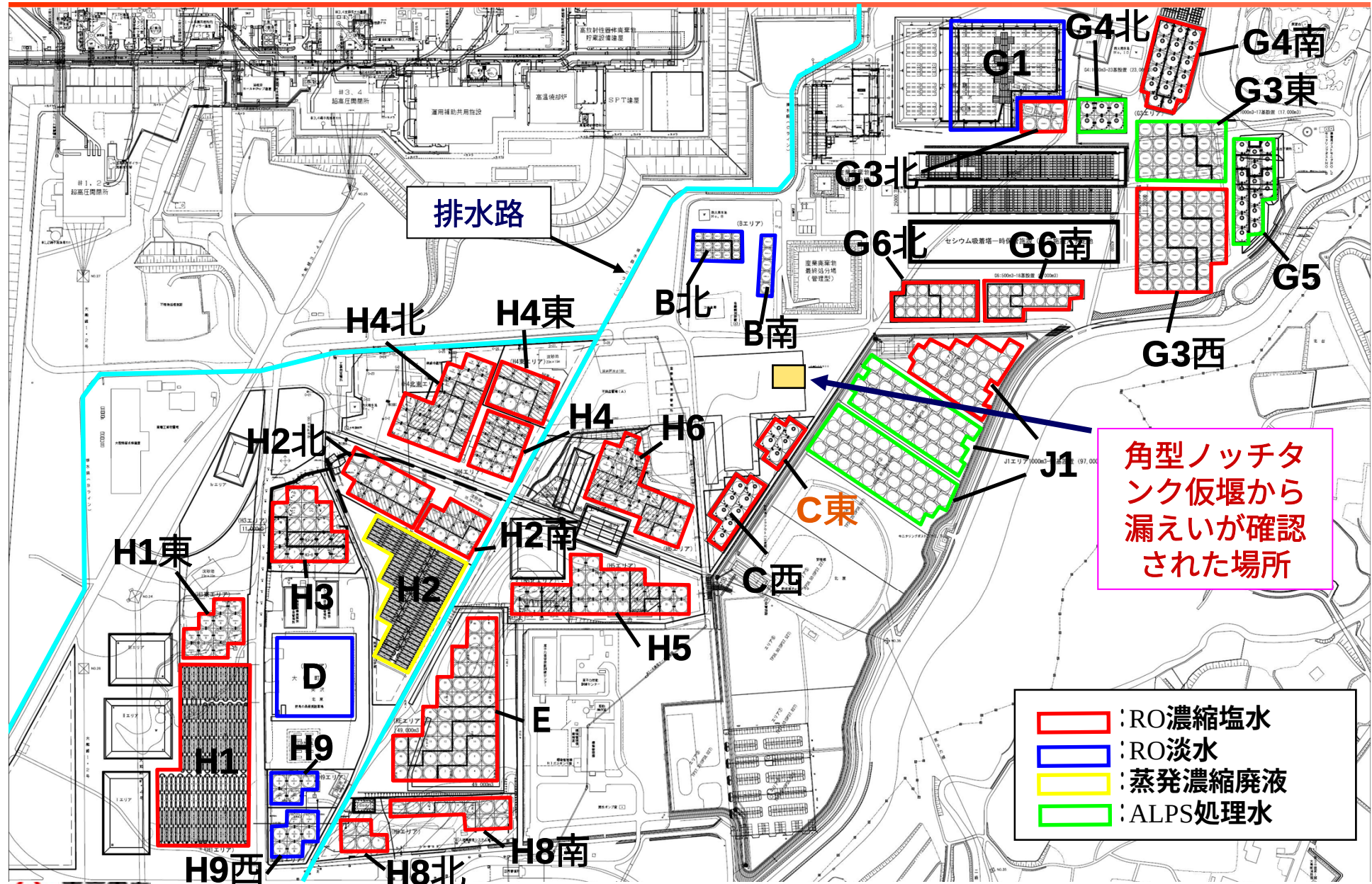
<漏えい水の表面線量率>

- バックグラウンドと同等
- 1cm線量当量率 (γ 線) : 0.006mSv/h
- 70 μ m線量当量率 (β 線) : 0.001mSv/h

<漏えい水の分析結果> (仮堰に残っている水を分析)

- ・セシウム134 : 検出限界値未満 (検出限界値: 12Bq/L)
- ・セシウム137 : 検出限界値未満 (検出限界値: 17Bq/L)
- ・全ベータ : 130Bq/L

構内タンク配置図



- : RO濃縮塩水
- : RO淡水
- : 蒸発濃縮廃液
- : ALPS処理水

漏えい発見時の状況



角型ノッチタンク



漏えい範囲